

QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ マニュアル訂正資料

All Rights Reserved

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

商標

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

注意

本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的にかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

本資料について

この資料は、以下に示す QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチに関するマニュアルからの変更内容を記載しています。

マニュアル	マニュアル番号	内容
QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ インストールマニュアル	GVT-228147-001-00 1.10	システムのインストール に関して説明していま す。
QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ オペレーションマニュアル	GVT-228149-001-00 1.7	データ設定や代表的なア プリケーションについて 記述しています。
QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ コマンドマニュアル	GVT-228148-001-00 1.6	ユーザがさまざまなコマ ンドを使用するときの参 考になります。

発行

2026年4月（3版）

改版履歴

版数	日付	内容
1.0	2026/3/18	新規作成
2.0	2026/3/31	#18044 追加
3.0	2026/4/23	#16529 追加

目次

1章 QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ インスタレーションマニュアル	6
2章 QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ オペレーションマニュアル	8
02-システム管理	9
14.2.2 ユーザアクセス方法の登録	9
14.5 SNMP の設定例	11
03-ポート	15
5.5.1 LACP の有効/無効の設定	15
08-PTP	16
1.1.1 伝送遅延の計測方法	16
3章 QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ コマンドマニュアル	17
01-システム管理	18
14.1.3 snmp-agent access	18
02-ポート	20
5.1.2 lacp	20

1 章 QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ インスタレーションマニュアル

追加および変更はありません。

2章 QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ オペレーションマニュアル

02-システム管理

14.2.2 ユーザアクセス方法の登録

■管理情報

区分	管理番号
変更	# 16529-1

■内容

変更前)

ユーザのアクセス方法を登録するには、System-view で以下のコマンドを登録します。

表 14-2 コミュニティ名の設定

操作	コマンド	補足
ユーザのアクセス方法を登録する。	<code>snmp-agent access accessname model { any v1 v2c v3 } level { auth noauth priv } [read readuser write writeuser]</code>	デフォルト：無効
SNMP エージェントを無効にする。	<code>undo snmp-agent access accessname model { any v1 v2c v3 } level { auth noauth priv }</code>	—

変更後)

指定したグループ名に対して、アクセス可能な SNMP_version、認証方法、mib-view を関連付けて、アクセスグループを設定するには、System view で以下のコマンドを実行する。

表 14-2 アクセスグループの設定

操作	コマンド
アクセスグループを設定する。	<code>snmp-agent access groupname model { any v1 v2c v3 } level { auth noauth priv } [read readview] [write writeview]</code>
アクセスグループを解除する。	<code>undo snmp-agent access groupname model { any v1 v2c v3 } level { auth noauth priv }</code>

📖 メモ：

- `groupname` は以下の様に指定してください。

表 14-3 *groupname* の設定

使用する SNMP_version	対応グループ名
v1,v2c	default_ro_group 、 default_rw_group
v3	事前に snmp-agent security-to-group コマンドで作成したグループ。

- デフォルト設定では、「default_ro_group」「default_rw_group」どちらも

model any level noauth に設定されています。その為 version によるアクセス制御を行う場合に一度グループを解除する必要が有ります。

例：読み取り専用グループ「default_ro_group」で snmp v1 のみ使用を許可する。

```
[QX-S708GT-2X-PW]undo snmp-agent access default_ro_group model any level noauth
```

```
[QX-S708GT-2X-PW]snmp-agent access default_ro_group model v1 level noauth read default_view
```

14.5 SNMP の設定例

III. 設定手順

■管理情報

区分	管理番号
変更	# 16529-2

■内容

変更前)

System view に移行する

```
<Switch>system-view
```

SNMP エージェントを有効にする

```
[Switch] snmp-agent
```

コミュニティ名とパスワードを設定する

```
[Switch] snmp-agent community read public
```

管理者 ID、連絡先、装置の物理的な場所を設定する

```
[Switch] snmp-agent contact Administrator1-Tel:03-3456-7890 [Switch] snmp-agent location telephone-closet,3rd-floor
```

trap の種類を設定する

```
[Switch] snmp-agent trap enable standard coldStart
```

trap 送信先、ポート番号、trap バージョンを設定する

```
[Switch] snmp-agent target-host trap address udp-domain 129.102.149.23 udp-port 162 params v2c
```

変更後)

System view に移行する

```
<Switch>system-view
```

SNMP エージェントを有効にする

```
[Switch] snmp-agent
```

コミュニティ名とパスワードを設定する

```
[Switch] snmp-agent community read public
```

管理者 ID、連絡先、装置の物理的な場所を設定する

```
[Switch] snmp-agent contact Administrator1-Tel:03-3456-7890 [Switch] snmp-agent location telephone-closet,3rd-floor
```

trap の種類を設定する

```
[Switch] snmp-agent trap enable standard coldStart
```

trap 送信先、ポート番号、trap バージョンを設定する

```
[Switch] snmp-agent target-host trap address udp-domain 129.102.149.23 udp-port 162 params v2c
```

trap 送信先、ポート番号、trap バージョンを設定する

```
[QX-S724GT-4X]display snmp-agent
```

SNMP Configuration

SNMP Mode : enabled

Engine ID : 800000770300c010000000

SNMP Communities Table:

Community name : public

Group name : public

Storage-type : nonVolatile

Community name : private

Group name : private

Storage-type : nonVolatile

SNMP Users Table:

User/Security Name : test1

Engine ID : 1000000000

Security Level : NoAuth, NoPriv

Authentication Protocol : None

Privacy Protocol : None

SNMP Groups Table;

Security Model : v1

Security Name : public

Group Name : default_ro_group

Security Model : v1

Security Name : private

Group Name : default_rw_group

Security Model : v2c

Security Name : public

Group Name : default_ro_group

Security Model : v2c

Security Name : private

Group Name : default_rw_group

SNMP Accesses Table:

Group Name : default_ro_group

Security Model : any

Security Level : NoAuth, NoPriv

Read View Name : default_view

Write View Name : <no writeview specified>

Group Name : default_ro_group

Security Model : v1

Security Level : NoAuth, NoPriv

Read View Name : default_view

Write View Name : <no writeview specified>

Group Name : default_rw_group

Security Model : any

Security Level : NoAuth, NoPriv

Read View Name : default_view

Write View Name : default_view

03-ポート

5.5.1 LACP の有効/無効の設定

■管理情報

区分	管理番号
変更	#18273

■内容

変更前)

LACP を有効にするには、Ethernet port view で以下のコマンドを実行します。

表 5-3 LACP の有効/無効の設定

操作	コマンド
LACP を有効にする	<code>lACP</code>
LACP を無効にする	<code>undo lACP</code>

デフォルト：無効

変更後)

LACP を有効にするには、Ethernet port view で以下のコマンドを実行します。

表 5-3 LACP の有効/無効の設定

操作	コマンド
LACP を有効にする	<code>lACP</code>
LACP を無効にする	<code>undo lACP</code>

デフォルト：無効



注意：

- LACP を有効に設定しているポートは、同じ（1つの）リンクアグリゲーショングループになります。
- 複数のリンクアグリゲーショングループを設定する場合は LACP を無効にしてください。

08-PTP

1.1.1 伝送遅延の計測方法

■管理情報

区分	管理番号
変更	#18044

■内容

変更前)

表 1-2 E2E と P2P の特長

項目	E2E	P2P
伝送遅延時間計測単位	マスタ装置とスレーブ装置間で伝送遅延時間を計測	マスタ装置・スレーブ装置・TCの各装置で隣接装置との伝送遅延時間を計測
PTP 未サポート装置との接続可否	接続できる	接続できない
中継段数による同期精度の劣化	劣化が大きい	劣化が小さい
スレーブ装置数によるマスタ装置への処理負荷	影響が大きい	影響が小さい

変更後)

表 1-2 E2E と P2P の特長

項目	E2E	P2P
伝送遅延時間計測単位	マスタ装置とスレーブ装置間で伝送遅延時間を計測	マスタ装置・スレーブ装置・TCの各装置で隣接装置との伝送遅延時間を計測
PTP 未サポート装置との接続可否	接続できる	接続できない
中継段数による同期精度の劣化	劣化が大きい	劣化が小さい
スレーブ装置数によるマスタ装置への処理負荷	影響が大きい	影響が小さい



注意：

PTP 未サポート装置を接続した場合、時刻同期の精度が以下の PTP 規格に適合することを保証できません。

PTP 規格：ITU-T G.8275.1、及び関連規格 ITU-T G.8271.1

3章 QX-S700G シリーズ Ethernet PoE スイッチ コマンドマニュアル

01-システム管理

14.1.3 snmp-agent access

■管理情報

区分	管理番号
変更	# 16529

■内容

変更前)

Syntax

```
snmp-agent access accessname model { any | v1 | v2c | v3 } level { auth | noauth | priv }
[ read readuser | write writeuser ] undo snmp-agent access accessname model { any | v1
| v2c | v3 } level { auth | noauth | priv }
```

View

System view

パラメータ

accessname: アクセス名

any: すべてのバージョン

v1: v1 のみ

v2c: v2c のみ

v3: v3 のみ

auth: 認証あり、暗号化なし

noauth: 認証、暗号化なし

priv: 認証、暗号化あり

readuser: 読み込み専用ユーザ名

writeuser: 読み書きユーザ名

説明

snmp-agent access コマンドは、SNMP のユーザのアクセス方法を登録します。**undo snmp-agent access** コマンドは、SNMP のユーザのアクセス方法を削除します。

変更後)

Syntax

```
snmp-agent access groupname model { any | v1 | v2c | v3 } level { auth | noauth | priv }
[ read readview ] [ write writeview ] undo snmp-agent access groupname model { any | v1 |
v2c | v3 } level { auth | noauth | priv }
```

View

System view

パラメータ

groupname: 設定するグループを指定します。(1~32 文字)

any: すべてのバージョン

v1: v1 のみ

v2c: v2c のみ

v3: v3 のみ

auth: 認証あり、暗号化なし

noauth: 認証、暗号化なし


priv: 認証、暗号化あり

read: 読み込み用 *mib-view* を選択する。 *readview* 読み込み用 *mib-view*

write: 書き込み用 *mib-view* を選択する。 *writeview*: 書き込み用 *mib-view*

説明

snmp-agent access コマンドは指定したグループ名に対して、認証方法、*min-view*、アクセス可能な *SNMP_version*、を関連付けて、アクセスグループを登録します。 **undo snmp-agent access** コマンドは指定したアクセスグループを削除します。

 **メモ:** デフォルト以外のグループ名を使用、グループ名に対してのアクセスを制限する場合は、**snmp-agent access** コマンドを使用して、アクセスグループを登録する必要があります。

02-ポート

5.1.2 lacp

■管理情報

区分	管理番号
変更	#18273

■内容

変更前)

説明

lacp コマンドは、指定の Ethernet ポートの LACP を有効にします。

undo lacp コマンドは、指定の Ethernet ポートの LACP を無効にします。

デフォルト：無効

変更後)

説明

lacp コマンドは、指定の Ethernet ポートの LACP を有効にします。

undo lacp コマンドは、指定の Ethernet ポートの LACP を無効にします。

デフォルト：無効



注意：

- LACP を有効に設定しているポートは、同じ（1つの）リンクアグリゲーショングループになります。
- 複数のリンクアグリゲーショングループを設定する場合は LACP を無効にしてください。